

## 一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により  
通告します。

2020年 5月28日  
東村山市議会議長 宛

議席番号 5番  
質 問 者 朝 木 直 子

### 記

#### 1. 緊急事態となった今年度の市政運営について

##### (2) コロナ禍により、生活が困窮している市民について

- ① コロナ禍による収入減で、生活困窮している市民の相談の件数と内容。困窮している世帯数や実情を把握しているか。
- ② 給付金や貸付等、社協も含めた支援策はどのようなものがあるか、要件や利用件数は。
- ③ 今後、市民の生活困窮による、当市の財政的影響をどう予測しているか。

##### (3) 地方創生臨時交付金等の活用について

- ① 国都からのコロナ禍関連での交付金額を伺う。
- ② どう活用するか、検討しているか。内容を伺う。

- (5) 今年度の市政運営について、大幅な予算の補正も含め、市長の考えを伺う。  
また、コロナ第二波が来ても耐えうる今後の市政のあり方をどう考えるか伺う。

## 2. 緊急事態宣言発出後の市役所職員の在宅ワークについて

- (1) 緊急事態が発出されてからの市役所職員の在宅ワークについて。
- ① 緊急事態宣言発出後の市役所各所管の在宅ワークの状況を伺う。
  - ② 緊急事態宣言発出という市民にとっても異常な状況下、市役所職員がテレワークであることによって、業務に支障や遅延が出ることはなかったか。
  - ③ コロナ感染の第二波も予想される中、今後のテレワークについての課題を伺う。

## 3. 水の抜かれた東村山駅東口噴水池およびカルガモ親子について

東村山駅東口の噴水池は、3月から水が抜かれ、カラカラのコンクリートにパイプが剥き出しとなっているが、毎年ここで子育てをし、多くの市民の癒しとなっているカルガモが今年も水の抜かれた池で雛を育てている。

しかし記録的な低温となった5月中旬には、夜間にコンクリートの上で雛が相次いで死に、コロナ禍で市民の気持ちが落ち込む中で、市の玄関とも言える駅前広場にはカルガモの雛の死骸が転がっているという、悲惨な状況であった。

- (1) 東村山駅噴水池の給水設備の故障および水を抜いた経過について、詳細に説明願いたい。
- (2) カルガモ親子のいる池の水を抜いていることについて、市民の反応について伺う。  
また市民の声を受けて、現場を見に行ったか。
- (3) 5月22日に、市がカルガモを「救出する」という動きがあったが、どのような計画だったのか、経過も含め、詳細に伺う。
- (4) 上記について、市長に総括的に伺う。

以 上